

高潮

高潮に関する
情報入手

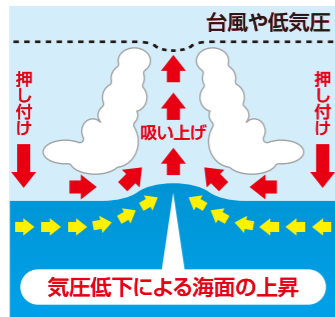
- 佐賀地方気象台 <https://www.data.jma.go.jp/saga/>
- 唐津海上保安部 <https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/karatsu/>

高潮は増水の速度が速く、満潮時刻の前後数時間は、潮位が短時間のうちに異常に上昇することがあります。台風が接近・上陸している時は十分に注意しましょう。

高潮の起こる仕組み

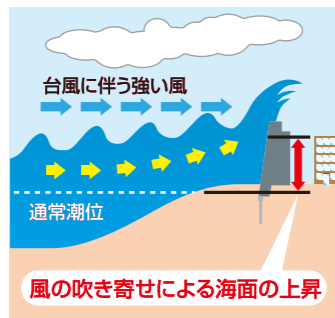
●吸い上げ効果

台風や発達した低気圧の中心が接近すると、中心付近の気圧が低下し、海面が吸い上げられて上昇します。



●吹き寄せ効果

台風による強い風が沖から海岸に向かって長時間吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。



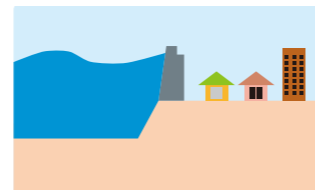
高潮の被害を受けやすい場所

●河口のまわり



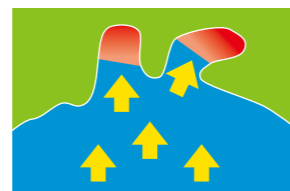
高潮の被害と河川の氾濫等、危険が重なる。

●ゼロメートル地帯



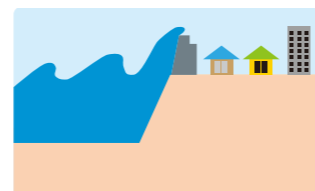
平均海面より低い土地は、浸水の危険性が高い。

●湾の奥のほう



押し寄せた海水がたまり、湾内の水位が上がる。

●急に深くなる海底地形



押し寄せた波が海岸の近くで一気に高くなる。

台風

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>



台風の大きさは、強風域(風速15m/s以上の強い風が吹いているか、地形の影響などが無い場合に吹く可能性のある範囲)の半径で表し、台風の強さは、最大風速で区分しています。

台風に関する情報の中では、台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で非常に強い台風」のように呼びます。

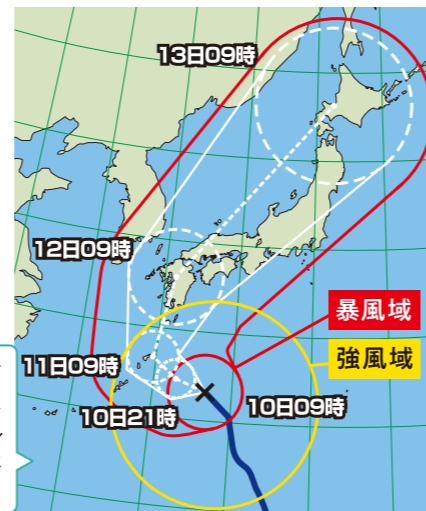
大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s以上44m/s未満
非常に強い	44m/s以上54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

台風情報の例



西側でも、地形によって高潮が発達する可能性がありますので、油断は禁物です。



東側では、風が特に強くなるため、高潮が異常に発達する可能性が高くなります。

台風が発生しやすい時期は、台風の進路を事前に確認して、適切な行動をとります。

高潮注意報・警報の基準となる潮位

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>



高潮注意報: 潮位1.6m **高潮警報:** 潮位2.2m

高潮特別警報: 数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮となると予想される場合

仮屋観測所の潮位情報



津波

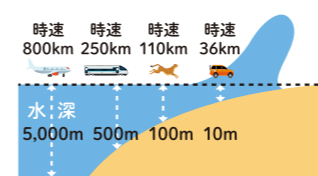
津波に関する
情報入手

- 佐賀地方気象台 <https://www.data.jma.go.jp/saga/>
- 唐津海上保安部 <https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/karatsu/>

海底で地震が発生すると、海岸に近い低地や河川沿いでは津波の危険性があります。地震が発生した時は、テレビ・ラジオ・インターネットなどの津波情報に十分に注意し、いざという時はすばやく高台へ避難しましょう。

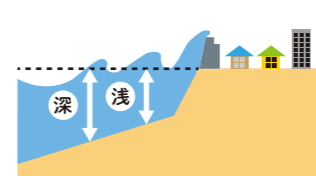
津波の特徴

●ジェット機並みの速さ



津波の速さは海が深いほど速く、津波が見えてからでは逃げきれません。

●想像以上の高さ



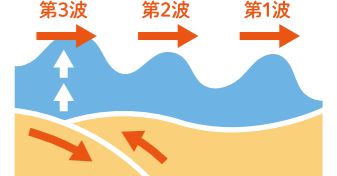
津波の高さは海岸の地形等で変わります。東日本大震災では、想像以上の津波が発生しました。

●予兆もなく襲ってくる



必ずしも、津波の前に引き潮(予兆)があるとは限りません。

●津波は繰り返す



津波は繰り返してくるので、警報や注意報が解除されるまで沿岸部に近づかないでください。

津波に関する警報・注意報、避難指示

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>



津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報が気象庁から発表され、その後予想される津波の高さや津波の到着予想時刻などが発表されます。津波注意報以上が発表されると、避難指示を発令します。機材の不具合により伝達できないことも予想されるので、津波浸水想定区域の方は津波注意報以上が発表されたときは自主的に避難をしてください。

	予想される津波の高さ		想定される被害
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m超(10m<高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。
	10m(5m<高さ≤10m)		
	5m(3m<高さ≤5m)		
津波警報	3m(1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m(20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれます。養殖いかだが流出し小型船舶が転覆します。

地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報(若干の海面変動)」を発表します。

避難のポイント

●小さな揺れでも油断禁物!

小さな揺れの地震でも、長い時間ゆっくりとした揺れの場合、津波が来襲することがあります。



●海岸や川には近づかない!

海岸はもちろん、津波は市街地よりも川を早くさかのぼりますので、できるだけ川に近づかず避難しましょう。



●率先避難者になりましょう

率先避難とは「緊急時に周囲に避難を呼びかけつつ、自ら率先して避難すること」を言います。率先避難者になることで、それを見ている周囲の人に避難行動を取らせるきっかけになります。



●高い場所へ避難する

海岸から「より速くへ」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。

